

各委員からの意見に対する富良野市所管課の回答について
《第5回富良野地区定住自立圏共生ビジョン懇談会》

意見項目	意見要旨	担当所管課	担当所管課の見解
外国人観光客の対応について (宮下委員)	外国人観光客が多く来ており、観光案内に苦慮している。相談体制や語学対応の充実が必要である。	商工観光課	観光案内所で必要な言語は、英語、中国語、韓国語が主なものであるが、観光協会が英語スタッフが雇用しているとともに、繁忙期には中国語・韓国語ができる市の嘱託職員を派遣し対応している。また飲食店や小売店など外国人観光客が訪れる事業所に対し、市の嘱託職員を講師に、語学や文化の違いを学ぶセミナーを開催している。
富良野圏域における災害対応について (菊池委員)	南富良野町の災害を教訓に、富良野圏域で災害があった場合に圏域で何の対応ができるか検討しておく必要がある。	総務課	<ul style="list-style-type: none"> ・「災害時における北海道及び市町村相互の応援に関する協定」(平成27年3月31日)構成:北海道・市長会・町村会 ・「全国へそのまちな協議会加盟市町村災害時の相互応援に関する覚書」(平成24年1月17日)構成:7市町村 ・「災害時における道北市長会構成市相互の応援に関する覚書」(平成25年4月8日)構成:9市 <p>上記協定、覚書を締結し、災害時には相互援助体制を構築している。また、福祉団体、医療機関、民間業者等の協定を結びながら、災害時の協力体制を構築している。</p>
外国人観光客の救急対応について (小山内委員)	外国人観光客が増えている中で、救急時の語学対応として、ボランティアや登録制など体制整備が必要である。	商工観光課 保健医療課	以前、台湾からの透析の患者の受け入れについて病院からの相談を受けたが、専門用語が多く対応が困難であるという判断をした経過がある。また、交通事故に会った外国人とのコミュニケーションをとるため、市内の人材を探したこともある。今後も交通事故を含め観光中の事故も想定されることから、外国人観光客の語学対応に向けた体制整備の中で、救急時の対応についても検討していきます。
共生ビジョン事業の効果検証について (家次委員)	共生ビジョン事業において、具体的にどんなことに使われていて、どんな効果があったのかがわかると、今後の新たなアイデアなどにつながるのではないかと。	企画振興課	来年度は実績が3ヵ年になるので、説明資料等の作り方を工夫し、共生ビジョン懇談会へ提案していきたい。